

平成20年5月16日

参議院政府開発援助等に関する特別委員会委員会決議「G8北海道洞爺湖サミット及び第4回アフリカ開発会議（TICAD）に向けた我が国の国際援助の在り方等に関する決議」の議決について

参議院政府開発援助等に関する特別委員会（ODA特別委員会）（溝手顕正委員長）は、以下のとおり委員会を開会し、「G8北海道洞爺湖サミット及び第4回アフリカ開発会議（TICAD）に向けた決議」を議決し、福田康夫内閣総理大臣ほかに対する質疑を行った。

1. 会議の日時・議題等

(1) 日時 5月16日（金）午後1時

(2) 場所 第41委員会室

(3) 案件

(イ) G8北海道洞爺湖サミット及びTICAD に向けた決議

決議議決後、福田康夫内閣総理大臣より所信を聴取。

(ロ) 政府開発援助等に関する調査

政府に対する質疑 2時間

(4) 質疑には、福田康夫内閣総理大臣、高村正彦外務大臣、緒方貞子国際協力機構（JICA）理事長ほかが答弁者として出席。

2. 決議に至る経緯

(1) ODA特別委員会の設置の経緯とこれまでの活動

ODA特別委員会は、二院制の下における参議院の特性を生かすべく、政府開発援助（ODA）を始めとする国際援助・協力に関する諸問題を調査するため、第164回国会召集日の平成18年1月20日に設置された。設置以来、我が国のODAに関する諸問題について積極的に調査に取り組んできており、昨年6月13日には、我が国の新た

な国際援助・協力の在り方について国会から考え方を発信し、我が国のODA政策に反映させるため、7項目からなる提言を取りまとめた。

(2) G8北海道洞爺湖サミット及びTICAD に向けた調査

本年は、我が国においてG8北海道洞爺湖サミット及びTICAD が開催される年である。また、ミレニアム開発目標達成に向けた折り返しの年でもあり、新JICAも発足するなど、我が国のODAが世界から注目を集めることとなる年である。

これを踏まえODA特別委員会では、国連開発関係機関、NGO、在京アフリカ大使等の有識者を参考人として招致し、アフリカ支援の在り方、我が国のODAの在り方等について議論をしてきた（別添3「2008年ODA関係日程と参議院ODA特別委員会」参照）。

今般、上記議論を踏まえ、G8北海道洞爺湖サミット及びTICAD に向け、我が国の国際援助の在り方について国会からの考え方を発信し、ODA政策に反映させるため、決議を議決することとした次第。

（了）

2008年ODA関係日程と参议院ODA特別委員会

政府の動き

参议院ODA特別委の動き

2008年1月

通常国会

外務省国際協力に関する有識者会議中間報告(1/21)

ODA戦略性、アフリカ支援、官民連携、ODA案件の形成と実施、人材育成の5分野について提言

2月

ODA調査派遣(南アジア、中東、アフリカ)

3月

平成20年度予算国会審議

委嘱審査(3/28)

現地視察を通じODAの効率的運用を促進
ODA予算案審議への関与

T I C A D ・ G 8 に向けた審議、決議、外国要人招致

ODA調査派遣報告・意見交換	4月2日
参考人質疑(国際機関から見た国際援助の潮流と日本のODA)	4月9日
・村田俊一 国連開発計画(UNDP)駐日代表	
・滝澤三郎 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日代表	
参考人質疑(新たな国際援助の在り方に向けた提言について)	4月16日
・横田洋三 中央大学法科大学院教授・国連大学顧問(参议院提言)	
・渡辺利夫 拓殖大学学長(外務省有識者会議中間報告)	
・大野 泉 政策研究大学院大学教授(ODA語る会提言)	
参考人質疑(NGOから見た国際援助の潮流と日本のODA)	4月23日
・大林 稔 TICAD市民社会フォーラム代表理事	
・石井澄江 G8サミットNGOフォーラム貧困・開発ユニットリーダー	
参考人質疑(アフリカから見た日本の対アフリカ支援)	5月14日
・E・E・E・ムタンゴ 駐日タンザニア連合共和国大使	
・J・C・オバム 駐日ガボン共和国大使	
対政府質疑(総理、外相、JICA理事長等)	5月16日
TICAD ・ G8 に向けた委員会決議	
参考人質疑(TICAD 参加首脳・著名人との対話)	5月下旬 (調整中)

4月

アフリカ開発会議閣僚級準備会議(3/20~21 ガボン)

5月

G8開発担当大臣会合(4/5~6 東京)

6月

アフリカ開発会議(TICAD)(5/28~30 横浜)

7月

G8外相会合(6/26~27 京都)

10月

G8サミット会合(7/7~9 洞爺湖)

新JICA発足(JICAにJBICの円借款部門が統合)

(参考)

2007年ODA関係日程と参议院ODA特別委員会

政府の動き

参议院ODA特別委の動き

2007年6月 G8サミット(ドイツ)

ODA7つの提言 (6/13)

我が国の国際援助・協力の在り方について国会からの考えを発信

「成長と責任」: アフリカ問題への関与

「美しい星50構想」: 地球温暖化問題への対処

1. 援助ビジョンについての明確な国民へのメッセージ
 - (1) 適正な援助水準に向けた事業量の確保、国際公約の履行
 - (2) 「選択と集中」による援助戦略と「地域戦略方針」の策定
2. 我が国の援助資源の総合的活用と途上国との「互惠」関係
3. 日本型援助の知見を活かした「平和構築」の推進
4. 「援助量」大国から「援助人材」大国へ
 - (1) 「人間の安全保障センター(仮称)」の創設
 - (2) 国際援助活動におけるキャリア・パスの確立
 - (3) 新JICA発足に伴う「援助力」の強化
5. 東アジアの成長と統合に向けた我が国援助の役割
6. アフリカの貧困削減と支援理由の明確化
7. 参议院による援助政策への積極的関与

8月 平成20年度予算概算要求基準閣議了解(8/10)

その他経費(義務的経費、人件費を除く)については、前年度予算額から 3%減。

平成20年度予算概算要求(8/31)

外務省一般会計ODA予算概算要求額は5,173億円(前年度比+13.9%;19年度4,544億円)

政府一般会計ODA予算概算要求額は、8,153億円(前年度比+11.8%;19年度7,293億円)

10月 臨時国会

ODA調査派遣(ベトナム)(12/2~6)

現地視察を通じODAの効率的運用を促進

外国要人との懇談(スリランカ)(12/10)

一般調査(12/19)

ODA予算案編成への関与

ベトナム カントー橋事故の調査派遣のフォローアップ

12月 平成20年度予算政府案閣議決定(12/24)

外務省一般会計ODA予算は4,407億円(前年度比 3.0%;19年度4,544億円)

政府一般会計ODA予算は、7,002億円(前年度比 4.0%;19年度7,293億円)